

辺野古土砂北九州・ミニニュース

辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会《2017年7月25日・No56》
連絡先…森下 090-9495-3902 南川 090-2853-7116 八記 080-1730-8895



参加者も講師も熱い…学習会でした

「ヒアリ問題と辺野古の現状」開催

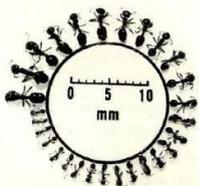
辺野古土砂北九州は、7月22日(土)、ムーブの大セミナールームで上記の学習会を開催。久保木謙先生の「アリについて知ってもらいたい」という熱い思いが会場を包み込み、暖かい雰囲気といい緊張感が漂う学習会となりました。

冒頭「アリはハチの仲間です」に、参加者から、「へー」「ほー」の声が上がったり、大きな顕微鏡で実際にヒアリ(標本)を見たり、ヒアリに対する認識を深めることができました。

また、八記事務局長からは、太刀浦コンテナターミナルのすぐそばに、土砂搬出予定地の採石場があることや、外来生物がもたらす生物多様性への影響や経済的被害、そして、現在の辺野古・高江の様子が報告されました。

北九州市環境局は24日、関係者を集めてヒアリを入れないうための会議を開きました。これはこれでいいのですが、(中国などに)持ち出さないための対応を取るよう、手を打つことも大事ではないでしょうか。

ヒアリの原寸です



ワーカー体長
2.5 mm~6 mm
女王体長
約 1 cm

つ・ぶ・や・き

「ミツバチがいなくなれば、1000種類の植物が地上から姿を消す」と、以前教えてもらったことがあったなあ…。

《ご案内》

日時…9月10日(日)14時~16時30分
場所…北九州市立商工貿易会館601会議室

辺野古土砂北九州 第3回定期総会のご案内



ヒアリ問題の講師・久保木謙先生と、先生が持参されたアリの標本。写真はヒアリの部分。上の図は先生の資料から。

山城博治講演会

- 10月8日(日)14時~
- 北九州市立商工貿易会館
- 2階多目的ホール
- 夜は交流会をします。



「ミスターゲート前」こと、山城博治沖縄平和運動センター議長

●「映画・標的の島」と「ヒアリ学習会」の二つの取り組みで、6人の賛同会員さんが増えました。現在、辺野古土砂北九州の団体会員は30団体・個人会員は159人です。

7月13日～15日、土砂全協が沖縄で 地元と力合わせ連続学習会開催

沖縄県の土砂条例担当者の方とも懇談

報告 八記久美子



北九州で開催された第4回全国総会の様子



県議の皆さんとの学習会



豊見城市での学習会



左から阿部さん・八記。右端が湯浅さん

■連続学習会の目的は

西日本を中心とした土砂搬出予定県には、沖縄に存在しない特定外来種が存在します。もし、土砂に紛れて特定外来種が沖縄に入ったら、沖縄の貴重な亜熱帯の生態系が、かく乱・破壊されてしまいます。沖縄県は外来生物の侵入を防ぐため、2015年に土砂条例(※)を制定しました。

土砂搬出反対全国連絡協議会(略:土砂全協)は、それぞれのふるさとの生物多様性を守る観点から、辺野古に土砂を送らない・持ち込ませない広域連携の可能性を探ろうと、3つの連続学習会を沖縄で開催しました。

■県議の皆さんと学習会

連続学習会の1日目は、沖縄県議会議員の皆さんとの学習会でした。県議会の最終日前日の忙しい時にも関わらず、県議13名(全与党会派)のほか、沖縄県政策調整官・マスコミなど約30の方が参加。全協顧問の湯浅さんが、「生物多様性から見た辺野古土砂搬出問題—懸念される環境汚染と外来生物持ち込み」と題して、講演を行いました。

■南部と北部、資料が足りない…。

2日目は南部の豊見城市、3日目は北部の名護市で開かれました。講師は湯浅さんと、同じく顧問の北上田毅さんの2人です。北上田さんは、「辺野古埋め立ての現状は」と題し、工事が大きく遅れている事や、政府が「あきらめの世論」をつくることに必死になっている事などを報告しました。

両会場とも予想以上の参加者で、資料が足りなくなりました。

■現地の大きな力で成功へ

この取り組みには、本土から湯浅顧問のほか、阿部共同代表と八記が参加しましたが、現地の皆さんの大きな力で、充実した取り組みになりました。

また、急に決まった記者会見が新聞に掲載された事や、沖縄県の土砂条例の担当職員の方と直接懇談できた事も、大きな収穫でした。

【※】「土砂条例」の正式名称は、「公有水面埋立事業における埋立用材に係る外来生物の侵入防止に関する条例」です。